

2024（令和6）年度看護の出前授業

令和7年1月23日（木）

宇都宮市立上河内中央小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

白澤病院の看護師2名が、「看護師になった動機」「看護師のお仕事・チーム医療について」「看護のシゴトの魅力」「看護師になるには」「命について」お話ししました。また、聴診器の体験・脈拍測定も行いました。



講師の感想

皆真剣に話を聞いている姿が印象的でした。私たちも看護師の魅力や仕事の喜びを再認識することができました。

「看護師になりたい」と思ってもらえたら嬉しいです。

○命や健康に深く関わり、大きな責任が伴うと同時に多くのやりがいを感じられる看護師さんが、看護師の魅力を話していたので、かっこいいなと感じました。

○看護師さんがいつも一人一人を大事にして、「人を思う気持ち」を大切にしているのがすごいと思いました。自分の夢をあきらめないことがいいと思えました。

○今日のお話を聞いて、自分も将来医療関係の仕事につき、一人でも多くの人の役にたちたいなと、思えるような貴重な体験でした。



先生の感想

事前打ち合わせを密に行えたので、担任も内容を理解して授業に臨めました。

講師の方のお話は、自身の体験を交えた具体的なお話で、スライドもあり、児童たちは理解を深めながら受講できました。



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和7年1月17日（金）

佐野市立吾妻小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

佐野厚生総合病院の看護師が、「看護職の現状について」「看護師の仕事紹介」「看護職への道」などについてお話ししました。また、講師が手術室看護師であり、手術室の紹介や、ガウンテクニクの体験や器具を持参してくださいました。



先生からのご感想

- 実際の医療器具に触れる機会が持てたことで、興味関心を持つことができた。
- 看護職の将来像についてもお話くださり、理解が深まった。
- この授業で、児童全員が「医療に関する仕事に興味を持った」と答えていた。

- 看護師の仕事がカッコいいと思った。自分も注射などをしてみたい。
- 看護師の仕事が重要で、やりがいのある仕事だということわかって良かった。
- 普段着ることのできない手術着を試着したり、触ったことのない医療器具を実際に触ることができて良かった。
- 医療関係の仕事は今まで興味を持っていなかったが、これからは選択肢に入りたいと思った。





2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年12月13日（金）

宇都宮市立清原東小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

新宇都宮リハビリテーション病院の看護師が、「看護師のお仕事」「看護師になるには」「看護師に大切な要素・能力」などについてお話ししました。聴診器や血圧計の体験も行いました。

児童の感想

○仕事にはやりがいも、大変なこともあり、頑張ることを教えていただきました。

○看護の仕事の基本を教えていただき、とても勉強になった。

○血圧計などの使い方を教わり、楽しかった。

○大学病院とリハビリテーション病院の違いが分かった。



先生の感想

講師の方々は児童たちの質問に真摯に答えてくださっていて、児童たちは現場の意見を聴くことができるという、貴重な体験をすることができました。



講師の方の感想

この授業を通して、自分が看護師の道を志した時を思い出し、初心に帰ることができました。普段患者さま・ご家族へわかりやすい説明を心がけていますが、今回「誰にでもわかりやすい説明」ができるよう勉強していきたいと思います。

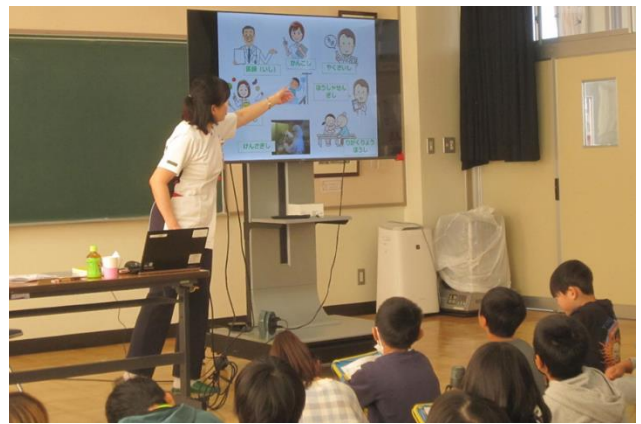
貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年11月28日（木）

下野市立国分寺東小学校で、4・6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。自治医科大学附属病院の看護師が、「看護師ってどんなお仕事？」「なぜ看護師になろうと思ったか」「看護師になるには」「やりがい」「今からやっておくこと」についてお話ししました。また、スライドや折り紙を使ったことで、児童は、わかりやすい伝え方や、あいさつ・コミュニケーション・思いやりの大切さが実感できたようです。



（4年生）

○看護師だけでなく、たくさんの人たちがチームになって仕事をされているのがいいな。

○優しくお話ししてくれたので、嬉しかった。

（6年生）

○将来の事や今何をすべきなのかを考えるきっかけになりました。

○災害の時にも活躍していることがわかった。



先生より

事前に講師の方と打ち合わせができ、「働くことの大切さを学び、自分のやりたいことを考える」ことができた。

子どもたちの発達段階に合わせたお話をしてくださり、興味深く聞くことができた。

2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年11月11日（月）

佐野市立石塚小学校で、6年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

あしかがの森足利病院の看護師が、自身の体験談を交えながら「看護師の仕事について」や「看護師になるためには」「必要な資格」、仕事のやりがいについてなどお話しし、聴診器などの技術体験をしました。



先生からのご感想

- 事前の打ち合わせを密にできたのがとても良かった。
- 看護師になるための進路に関する話が具体的な内容だったので、看護師を目指す児童には非常に参考になったと思う。
- 今の児童たちに大切なことなどもアドバイスいただけてとても良かった。

- 看護師の仕事内容ややりがいを知り、「ふれあい看護体験」に参加してみたい。
- 看護のシゴトはたくさんあり、大変だと思った。教えていただいた手洗い・うがいを実践していきたい。
- 今後看護のシゴトが大切だと思い、看護のシゴトをしてみたいと思った。





2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年10月25日（金）

栃木県立矢板東高等学校で、1・2年生を対象に、看護の出前授業がおこなわれました。

国際医療福祉大学塩谷病院の看護師2名が、看護師とは、看護師になるには、看護系大学で学ぶこと、看護師のやりがい、チーム医療・手術室看護師についてなどをお話ししました。



- やりがい大きいと聞いて興味がわいた。
- 「興味がある職業には実際に触れてみるのが大事」と聞き、積極的に調べていきたい。
- 「人に興味をもつ」ことが大切とのお話が印象的だった。
- オペ室や緊急外来での仕事の説明が印象に残った。魅力的だと感じ、詳しく調べてみたい。
- 大学や学校のお話はオープンキャンパスでも聞けるが、現場の看護師さんから直接お話を聞くことができ、貴重な経験となった。

看護師さんのお話を聞いた後、
心音聴取、血圧、酸素飽和度測定
を体験しました。



2024（令和6）年度看護の出前授業



令和6年7月29日（月）

栃木県立宇都宮南高等学校で、1・3年生を対象に、看護の出前授業がおこなわれました。医療法人社団友志会 石橋総合病院の看護師が、看護師の仕事って、看護師になろうと思ったきっかけ、看護師になって良かったこと、看護師になるためには、必要な能力って何？災害支援ナースについてなどの講義をおこないました。また、看護師だけでなく、その他の医療職にも興味を持っている生徒の参加もあり、看護職以外の職種との連携についてもお話がありました。



- ・優しさやコミュニケーションはもちろん、観察力・向上心・努力が、必要な「能力」だと学んだ。
- ・患者さんを尊重する気持ち、患者さんへの興味・関心が必要だと思った。
- ・看護師が病院以外で働けると知ることができた。
- ・看護師から直接お話を聞き、より看護師の仕事に魅力を感じた。



2024（令和6）年度看護の出前授業



令和6年7月16日（火）

那須町立高久小学校で、全校児童を対象に看護の出前授業、4年生対象に理科の時間に「ヒトのからだ」についての授業をおこないました。

医療法人 社団 萌彰会 那須北病院の看護師が、全校児童に向け、看護師の仕事についてなどの講義をおこないました。その後4年生に向けて「人の臓器の働きについて」の授業をし、聴診器を使い心音を聴く体験をしました。

- ・看護師さんの仕事は大変そうだと思います。
- ・今日のお話を聞いて看護師について興味をもった。
- ・病院にはお医者さんと看護師さんしかいないと思っていたけど、他にもいろいろな人が働いていることが知れました。
- ・「ヒトのからだ」について、いろいろな器官があることがわかりました。



看護師になろうと思った動機・どうやって看護師になったか・自分のこれからの目標をお話しました。



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年6月20日（木）

高根沢町立阿久津中学校で、1～3年生を対象に、看護の出前授業がおこなわれました。

「とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ」の看護師が、「わたしの看護のあゆみ」「看護師の仕事」「看護師資格を取るには」の講義と簡単な技術体験をおこないました。

講師が看護師になろう
と思った動機や心に残
るエピソードについ
て、また、病院・地域
で働く看護師の動画
を見ながら看護師の
仕事について講義を
しました。



酸素飽和度モニターを
実際使ってみました。

6月



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年6月18日（火）

栃木県立壬生高等学校で、1～3年生を対象に、看護の出前授業がおこなわれました。獨協医科大学病院から看護師3名が、看護師の仕事・やりがい、キャリアアップについて具体的な講義と聴診器を使用した技術体験をおこないました。

看護師の実体験の話は、目指す生徒たちに非常に参考になったと思う。

（先生）

看護師のリアルな動画を見たり話を聴けてとても良い機会となった。



壬生高校を卒業した看護師から直接お話しを聞きました。



聴診器は細かな音も大きく聞こえ、新鮮！



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年6月13日（木）

栃木県立鹿沼商工高等学校で、1～3年生を対象に、看護の出前授業がおこなわれました。

「御殿山病院」の看護師が、「看護師になるには」「看護職について」「看護師の一日」、また看護師を目指すきっかけや学生時代や看護師として経験したエピソードについての講義と聴診器体験をおこないました。

実習で大変だったことや経験を聴いて、それを乗り越えたからこそ、命に携わることができ、患者さんに親身に寄り添えるのだと感じた。



2024（令和6）年度看護の出前授業



令和6年5月14日（火）

栃木県立佐野高等学校附属中学校で、2年生を対象に、看護の出前授業が行われました。佐野市民病院の看護師が、自身の経験を踏まえて、仕事内容ややりがい・心に残るエピソード、必要な資質や適性、身に付けておくべきことなどを講義し、体験も行いました。

ふだん仕事をしている仕事着で講義をしていただきました。皆さん真剣に講義を聞いています。

血圧測定や聴診器・酸素モニターを体験してみました。



2024（令和6）年度看護の出前授業

令和6年5月8日（水）

星の杜中学校・高等学校で、中学校3年生から高校生を対象に、今年度初めての看護の出前授業が行われました。

医療法人北斗会宇都宮東病院の看護師が、看護師の仕事について、やりがい・大変なことなどをお話しし、また、体験も行いました。

聴診器を使ってみました。
友達の心臓の音が聞こえるね。
酸素飽和度測定器を使ってみました
指先の器械から酸素や脈の値が分かるんだね。



人の命を預かっている場所であり、勉強をたくさんしなくては。看護師の方の体験談が心に響いた。



講師の方から。

自分が看護師として、大切に思っていることなどの振り返りもでき、貴重な体験ができました。